

令和7年度国際総合競技大会における日本代表選手団帯同医の業務について

令和6年12月25日

1. 設置目的

令和7年度国際総合競技大会日本代表選手団に随行する帯同医は、各競技団体のチームドクターと連携をとり、各国際総合競技大会に参加する選手、コーチ、スタッフ等の日本代表選手団の健康管理を行うと同時に、主催者や組織委員会が開催するチームドクター会議に参加して医学に関わる情報を収集し、また必要時に競技のクラス分けやドーピング検査に立会い、日本代表選手が円滑に競技出来るようにサポートすることにある。

2. 派遣日程

①タシュケント2025アジアユースパラ競技大会(ウズベキスタン・タシュケント)

アジアユースパラ競技大会は2024年12月19日に開催見送りの発表を受け募集を保留

②ミラノ・コルティナ2026パラリンピック冬季競技大会(イタリア・ミラノ/コルティナ)

大会期間:2026年3月6日(金)開会式～15日(日)閉会式(10日間)

※派遣期間は大会期間の前後数日を含み予定していますが、大会により多少前後します。

3. 募集人数

内科系1名・外科系・リハ医あるいは他科1名を含む合計3名。

※最終エントリー選手数により2名となる場合があります。

※原則、女性医師を少なくとも1名は含むこと。

※看護師の帯同も想定。

4. 費用について

渡航費・滞在費・ユニフォームはJPCが負担します。また、公益財団法人日本パラスポーツ協会の規定に基づき、帯同期間中の謝金をお支払いいたします。

5. 業務内容 別紙のとおり

(公財)日本パラスポーツ協会 医学委員会
委員長 緒方 徹